

ほった しょうじ  
堀田 正治さん  
(山王七丁目・75歳)

保戸野鉄砲町竿燈会に所属して、竿燈妙技大会第1回個人戦で優勝するなど、名演技者・名指導者として活躍しました。また、竿燈行事の研究を重ね、「竿灯のはなし」や「竿燈の本」を発行。平成3年、秋田市竿燈会会長に就任し、国内外からの要請に応じ、竿燈の魅力を広く伝え、伝統文化の保存・振興に大きく貢献しています。

ひことこ 秋田の文化を伝えることができ、満足感でいっぱいです。長年竿燈を続けてきましたが、一番心に残るのは妙技大会第1回個人戦の優勝です。

いとう たけみ  
伊藤 武美さん  
(山王一丁目・74歳)

長年にわたり歴史研究に励み、シルクロード全域を踏査するなど意欲的な調査活動を行っています。また、「佐竹義宣と正洞院」などの著書を通じて、歴史の解明に大きな実績をあげています。現在、文化財保護協会会長として組織の強化などに尽力し、秋田市の文化財愛護思想の高揚に貢献しています。

ひことこ 文献だけでなく、実際にどこにでも足をはこんで調べることが私のモットーです。これをきっかけに、ふんどしを締め直してますます研さんを積み、歴史の解明に努めたいです。

わたなべ せいいちろう  
渡部 誠一郎さん  
(手形字才ノ浜・70歳)

昭和30年、秋田魁新報社に入社以来、健筆をふるって議論を展開し、県勢・市勢発展への世論の喚起に大きな功績をあげています。また、膨大な歴史資料の発掘・研究に基づき、優れた著作を多数執筆刊行し、郷土の歴史や先人の功績をわかりやすく解き明かし、郷土意識の高揚に貢献しています。

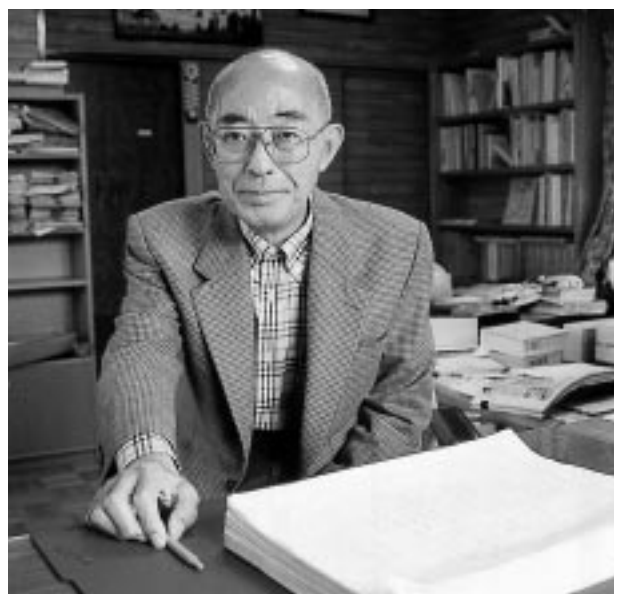
ひことこ これまでご協力していただいたかたがたにとっても感謝しています。私は書くのが仕事ですから今でも、1日1回でもペンを手にしないと床に着けません。今、31冊目の発行を手がけています。



堀田正治さん



伊藤武美さん



渡部誠一郎さん